

教育理念	私たちは、常に新しい知識を希求する。そのため、日々の活動をとおして自己を研鑽し校風の発揚に努めることを決意し、次の事項を教育理念とする。 一 真理の探究 一 自他の敬愛 一 責任の完遂		
学校教育目標	現代社会における情報化・国際化の進展や産業技術の発展をふまえ、生涯にわたる人間形成の基礎を培うため、多くの科目を開設して生徒の個性を伸ばさせるとともに、将来の職業選択を視野に入れた進路への自覚を深めさせ、社会の変化に主体的に対応できる心身ともに健康な人材を育成する。		
実践目標	”集団の教育からマンツーマンの教育へ” 生徒の興味・関心、能力・適性および進路等にきめ細かく対応し、マンツーマン指導をベースにした教育支援体制により、生徒個々の希望する進路実現を目指す。		
中期目標	① あらゆる学力(生きる力)の伸長を図る学校づくり ② 様々な場面で基礎的・汎用的能力を育成する学校づくり ③ ライフプランを確立・支援できる学校づくり ④ 第一希望進路実現達成率の高い学校づくり ⑤ 地域から信頼される学校づくり ⑥ 調和のとれた学校づくり ⑦ 組織的・有機的に運営される学校づくり	総合評価	

部署別重点目標

部署	今年度重点活動(評価項目)	中期目標	到達目標(評価の観点)	評価	成果と課題・改善策
教務	1 総合学科及び塩尻志学館高校の魅力を中学生・保護者・地域に積極的にアピールし、本校で学ぶ意欲に満ちた生徒を集め、本校総合学科のさらなる発展を目指す。	①②③⑤	・公開授業(計560人)および体験入学(720人)の充実 ・中学校訪問の充実…24回、教務部以外との協力 ・Webサイトの活用…アクセス数35,000 ・マスメディア(地域新聞、地域広報等)の活用 ・入学者選抜方法(前期)の改善		
	2 効率的な業務推進・学校運営	⑥⑦	・業務全般の見直し ・諸会合の協議時間の短縮 ・報告連絡事項の周知方法の研究		
進路指導	1 学年・進路指導部に加え、系列による指導の体系化・組織化を図る。	①②③④⑤⑦	・卒業時アンケート項目「進路希望が実現できた」に対する回答で「あてはまる・だいたいあてはまる」が8割以上。		
	2 進路実現に向けて自ら積極的に行動できる生徒の育成を図る。	①②③④	・補習授業(桔梗塾を含む)の出席率の増加。 ・進路実績の向上。		
生徒支援	1 マナー・ルールの遵守 (学校生活のしおりにそった学校生活) ①生活・授業規律など基本的な生活習慣の確立 ②携帯電話三原則の徹底 ③服装・頭髪等の身だしなみの徹底 ④公共機関の正しい利用法の徹底	①②⑤⑥⑦	・全職員の意識統一により、日々生徒への声かけをする。 ・家庭・地域との連絡、連携を密度の濃いものにする。 ・授業やHRを通じて生徒の意識を高める。 ・生徒会と連携による生徒からの呼びかけをする。		
	2 いじめを出さない学校づくり ①いじめ三原則「しない・出さない・見逃さない」指導の重視 ②「ほう・れん・そう」の重視				

部署別重点目標

部署	今年度重点活動（評価項目）	中期目標	到達目標（評価の観点）	評価	成果と課題・改善策
キャリア教育推進	1 キャリア教育の充実	①②③④⑤	・3年間の体系的な教育計画に基づき、各業務が運営できたか。 ・活動、まとめ、発表、討議の機会を設け、生徒の主体的な活動に結びつけたか。		
	2 科目選択の充実	①②③⑥⑦	・個々の生徒が、より自己にとって適切な科目選択ができるような指導体制の構築ができたか。 ・複数の段階的で有効な点検が実施できたか。 ・職員間での十分な検討の機会ができたか。		
	3 将来構想への取り組み	⑤⑥⑦	・本校の将来構想研究について、計画的な取り組みができたか。 ・多角的な視点から、多くの意見を集約しながら、本校のあるべき姿についての方向性を示すことができたか。		
生徒会	1 校歌を誇りを持って歌い、大きな声で気持ちよく挨拶ができ全校生徒が志学館生として「自覚」を持ちお互いに「絆」を感じる校風を築く。	①②⑤⑥⑦	・学校生活の中で、生徒会本部会、委員会、クラブ、地域活動等で各生徒の充実感や達成感を高める。 ・集会、壮行会等で全員が大きな声で校歌を歌い、挨拶ができ志学館生としての自覚が持てる。		
図書・視聴覚	1 図書館運営の充実を図る	①②③④⑦	・図書館運営の活性化が図れたか。 (図書館利用者数、授業利用時間数、レファレンス数、貸出数広報活動など。)		
	2 視聴覚教育の充実を図る。	①②⑦	・視聴覚教室の利用促進が図れたか。 ・芸術鑑賞の円滑な運営が図れたか。		
保健厚生	1 校舎内外の美化・清掃 強化	①⑥⑦	・ゴミの分別と減量化・生徒の取り組み強化 (ゴミの捨て方・生徒の清掃態度)		
	2 検診のスムーズな運営と性教育・薬物教育の充実	①⑥⑦	・保健委員会・職員の協力体制を確立する (事前の段取りに工夫があったか) ・外部講師の精選と教育方法の研究する (教育後の生徒の感じ方)		
	3 職員厚生の充実	⑥⑦	・ストレスの軽減とリフレッシュ行事推進 (リフレッシュ後における職員の表情)		
渉外	1 学年・学級PTAの充実	⑤⑦	・学年・学級PTAを開催する ・授業参観や講演会を企画する		
	2 保護者との連携強化	⑤⑥⑦	・PTA研修やPTA研修旅行を充実する ・PTA通信を発行する		
	3 同窓会との連携	⑤⑦	・同窓会活動への協力 ・大会出場生徒（北信越大会以上）への活動助成		

部署別重点目標

部署	今年度重点活動（評価項目）	中期目標	到達目標（評価の観点）	評価	成果と課題・改善策
1 学 年	1 家庭と連携し、生徒の基本的な生活習慣を確立し、基礎学力の定着を図る。	①②④	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭との連携を密に取り、欠席・遅刻などの連絡を得ることができ、生徒の生活リズムの確立ができたか。 ・挨拶や清掃活動などを通し、生徒と積極的に関わり相談しやすい雰囲気を作ることができたか。 ・各種検定や模試の受験を奨励し受験者数を伸ばすことができたか。 ・家庭学習を奨励し、充実した授業を受けるような指導ができたか。 		
2 学 年	1 学習習慣の確立と基礎学力の充実	①②④⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・教科ごとに課題を出すことができたか。 ・各教科で、小テストを実施できたか。 		
	2 希望進路実現への取り組みの強化	③④⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・科目選択において、積極的に相談にのれたか。 ・各種検定試験の受験者数が増えたか。 		
	3 研修旅行・平和学習の充実	①②⑥⑦	<ul style="list-style-type: none"> ・C PやLHRで平和について考え学ぶ機会が持てたか。 ・研修旅行の事前学習において、各教科と連携して行うことができたか。 		
3 学 年	1 本校の最上級生としての自覚を持たせ、それぞれの場所でリーダーシップを発揮させる。	①②⑤⑥⑦	日常の活動の充実、各種学校行事の成功。		
	2 生徒一人一人が充実した高校生活を送り、進路希望を実現できるよう指導する。	①②③④	卒業生アンケートの満足度90%以上。		
5 学 年	1 前期卒業を目標に規則正しい生活、学習習慣の確立に努める	①②	家庭、教科担任との連携を深める。		
	2 進路実現のための意識の向上に努める。	④	本人の希望を重視しながら家庭との連携を進める。		